

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 国際・地域連携センター ニュースレター 〈第32号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

## はじめに

### 高知大学インサイド・コミュニティ・システム 地域連携コーディネーター(UBC)着任

平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」にて本学が採択された「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業」において、県内各地域に地域連携コーディネーターを常駐させ、より一層地域との連携を深めることを目指します。

地域連携コーディネーターは県内各地域に4名常駐の予定であり、その一人目が1月1日付で着任しました。常駐地域は安芸地区の予定であり、3月頃に派遣されることとなります。

順次、さらに3名のコーディネーターが着任する予定となっており、県内各地域の課題を収集する役目を担います。地域の課題解決に当たり、学生および各教職員からもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 目次

### p1 はじめに

### p2 地域連携・再生部門

Topic1. KICS キックオフシンポジウム

Topic2. 安田町農業振興セミナー

### p3 産学官連携部門

Topic1. 高知県産学官連携産業創出研究推進事業  
(育成研究支援)

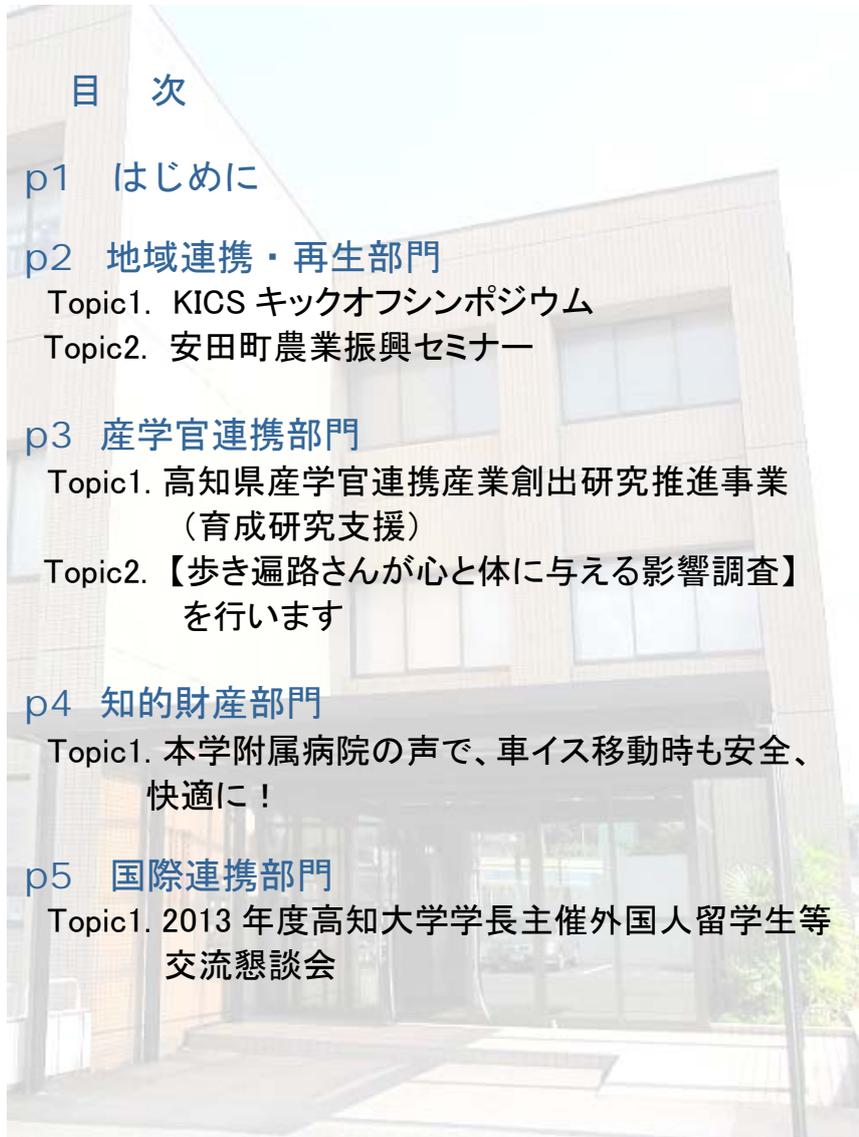
Topic2. 【歩き遍路さんが心と体に与える影響調査】  
を行います

### p4 知的財産部門

Topic1. 本学附属病院の声で、車イス移動時も安全、  
快適に！

### p5 国際連携部門

Topic1. 2013年度高知大学学長主催外国人留学生等  
交流懇談会



## Topic 1. KICS キックオフシンポジウム

### ～地域と高知大学による協働創出の課題と展望～

KICS 事業の県内への紹介と、今後の課題と展望を話し合うため、地域振興に取り組む方々を主な対象としてキックオフシンポジウムを開催します。

日時:平成26年2月17日(月)13:00～16:30

場所:高知会館(高知県高知市本町 5-6-42)2階「白鳳」

参加費:無料

プログラム

基調報告:受田浩之氏(高知大学副学長、国際・地域連携センター長)

『「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)」について(仮)』

話題提供:上田健作氏(高知大学地域協働教育学部門教授)

『高知大学の COC 教育改革と地域協働学部(仮称)の設置について』

中澤一真氏(高知県産業振興推進部長)

『高知県の視点から期待と課題』

渡邊基文氏

(株式会社シティーネット代表取締役社長、土佐経済同友会産官学民連携委員会委員長)

『産業界の視点から期待と課題』

光明院修一氏(香南市企画課長)

『市町村及び地域の視点から期待と課題』

パネルディスカッション:コーディネーター(受田浩之氏)

パネリスト(話題提供者 4 名)

## Topic 2. 安田町農業振興セミナー

### ～新規導入果樹としてのブルーベリー～

本学と安田町との連携協定に基づき、町の農業従事者向けに毎年農業振興セミナーを開催しております。町では、マンゴー、ブルーベリー、いちじく、ポポーといった新興作物を普及促進するため、これら作物の苗購入費の 7 割を補助金として負担します。本セミナーでは、実際にこれら新興作物を導入するにあたっての栽培方法や果実としての特色、経済性等について講義しました。地域から 24 名の方にご参加いただきました。

日時:平成 26 年 1 月 23 日(木)13:30～15:00

場所:安田町役場中山支所

講演者:浜田和俊氏

(農学部暖地農学コース 講師)

「新規導入果樹としてのブルーベリー」



## Topic 1. 高知県産学官連携産業創出研究推進事業(育成研究支援) ～海洋深層水を用いた臨床評価実施計画の作成～(H25 年度採択) 実施状況～

高知県産学官連携会議食品部会(部会長:高知大学 受田浩之副学長)において、高知県産業振興計画における室戸海洋深層水の製造品出荷額の数値目標が平成 27 年に 170 億円(平成 23 年度は 136 億円)となっていることから、室戸海洋深層水の利用拡大とブランド化の再構築を図るため、室戸海洋深層水を用いた臨床評価に関する勉強会を設置することが決定しています。勉強会では、室戸海洋深層水の飲用による健康増進効果を検証するための臨床試験のあり方について検討する予定です。現在、勉強会での議論のたたき台として、 hypertension 及び高脂血症患者に対する海洋深層水を用いた健康管理の有効性と、胃潰瘍の原因の1つとして考えられているヘリコバクター・ピロリに対する海洋深層水飲用による抗ピロリ効果についての臨床評価実施計画(素案)を準備しているところです。

また、本年度は室戸市内において本格的な臨床評価を実施するための課題を明らかにするため、室戸市役所と連携し、試行的に海洋深層水の抗ヘリコバクター・ピロリ効果を以下のとおり試行します。

臨床試験「室戸海洋深層水の抗ヘリコバクター・ピロリ効果」 参加者(42 名)

①説明会及びヘリコバクター・ピロリの尿素呼気テスト

日時:平成 26 年 1 月 23 日(木)8:40～11:00

場所:室戸保健福祉センター「やすらぎ」

②1ヶ月間の室戸海洋深層水(硬度 1000)もしくはミネラルウォーターの飲用(1日1L)

飲用期間:平成 26 年 2 月 15 日～3 月 16 日

③ヘリコバクター・ピロリの尿素呼気テスト

日時:平成 26 年 3 月 17 日(月)8:40～11:00

場所:室戸保健福祉センター「やすらぎ」

## Topic 2. 【歩き遍路さんが心と体を与える影響調査】を行います

四国遍路は年間2万人が参加し、中でも四国中を歩いて回る「歩きお遍路」は7千人と言われ、約3カ月をかけて四国の寺院を回っています。

四国における「お遍路さん」の健康に対する効果は、その達成時の主観的感想から推察されるように、心も体も健康へ向けて改善されると考えられているものの、今まで大規模な科学的調査が行われていません。

今回、(独)産業技術総合研究所と連携して、後年実施予定の一般民間人を対象とした、歩きお遍路生体影響調査研究の事前準備として、高知大学教職員及び(独)産業技術総合研究所の職員を対象とした予備試験を実施いたします(H25.11.7 医学部倫理委員会承認)。

本調査では、実際に3泊4日の歩きお遍路(全行程60km)をしながら、血液検査や活動度の検査を行います。

実施期間:平成 26 年 2 月 24 日(月)～2 月 27 日(木) 1日5～6時間歩行

データ収集内容:血液、尿、唾液、心拍変動、活動度、疲労度、ストレス状態

## Topic 1. 本学附属病院の声で、車イス移動時も安全、快適に！ ～企業と共同開発した点滴スタンド販売開始～

片手で点滴スタンドを支え、もう片方の手で車イスを操作。不安定な状態での移動は危険で、段差もなかなか乗り越えられない…。このような状況を安全、快適、便利に改善できる点滴スタンド(車イス後方連結型)が本学附属病院と(社)高知医療再生機構、及び泉株式会社により共同開発されました(特許出願中)。

本製品は看護師側(車イスの後方)に連結できるため、看護師も患者もスタンドを持つ必要がなく、前方も視界すっきりで快適で、とっさの対応も素早く安全にできます。

ベッドサイドや歩行での通常使用状態から車イスへの連結操作も簡単で、輸液ポンプなども操作しやすい設計です。

本製品は本学附属病院の医療現場の声を反映した、実用的で看護師にも患者さんにも受け入れられやすいもので、今後の販売・普及に期待が持たれます。

**業界初!** 車イスに後方連結型点滴スタンド

現場の声から生まれた\*



安全、快適、便利!

- 安全**  
看護側(後方)にスタンドがあるから、とっさの対応も素早く安全に。
- 快適**  
看護側も患者もスタンドを持つ必要がなく、前方も視界すっきりで快適。
- 便利**  
通常使用時から車イスへ簡単連結。

安定性、グリップ性も高く歩行時も安心。通常の使用もできます。



**IZUMI**

**後方連結で 車イスでの移動時安全をキープ**



- 掛けやすい・外れにくい**  
使いやすい輸液フックの形状
- 安定**  
段差を安全に乗り越えられる設計
- 簡単連結**  
安全の3点支持連結
- 使いやすい**  
車イスへの後方連結時も看護側のスムーズな歩行性をキープ
- コンパクト**  
スタッキング設計

輸液ポンプなども操作しやすい

ハンドルと足下でワン・ツー簡単連結。

価格/¥57,000(税抜)  
本体寸法: W900mm / 315mm x D400mm x H1200~1500mm

**IZUMI 泉株式会社**

お問い合わせ

本社 〒500-0006 大分県北中津市東町1丁目2番28号 九州三井ビルディング  
TEL: (03) 6448-6141 FAX: (03) 6448-6143  
東京支社 〒141-0021 東京都品川区上大崎2丁目1番1号 品川三井ビルディング  
TEL: (03) 5719-7492 FAX: (03) 5719-7492

予告なく商品の仕様や価格を変更する場合があります。ご留意下さい。

## Topic 1. 2013 年度高知大学学長主催外国人留学生等交流懇談会

12月4日に高知市内の高知商工会館において、2013年度学長主催外国人留学生等交流懇談会を開催しました。これは、高知大学で学ぶ外国人留学生や外国人研究者と留学生支援団体や教職員との交流の場であり、外国人留学生等との親睦を図り、相互理解を深める目的で毎年開催されているものです。

外国人留学生等の入場の際には、脇口宏学長と国際・地域連携担当の菊地るみ子副学長による、高知大学流のおもてなしによる出迎えがあり、学長が留学生一人一人と握手を交わしました。学長からの挨拶の中で、高知県は「おきゃく」という「おもてなし」の文化があることや「高知家」プロジェクトのように、お互いを家族と思えるほどに大切な仲間としてお互い理解し合い、「お互い様」の精神で対応していくきっかけとしてほしいとのメッセージが会場に送られました。その後、来賓の紹介が行われ、脇口学長による尺八演奏や留学生等によるステージパフォーマンスが行われました。また、櫻井理事の演奏による「学歌」を教職員一同で斉唱する場面もあり、懇談会は大いに盛り上がりました。

会場には英語や中国語、日本語が飛び交い、国を超えて楽しく歓談する様子があちこちで見られました。最後に留学生全員によって「幸せなら手をたたこう」を多言語で歌い、深見理事の温かなメッセージで締めくくられました。今回は外国人研究者の参加もあって、176名が一堂に集い、盛況な交流懇談会となりました。



留学生を出迎える脇口学長、菊池副学長



留学生による演奏



多言語で歌う留学生たち